



## か や ま 加山 ミサ

こうべほんぶ かちょうだいら  
神戸本部 課長代理

情報ベンチャー協同組合の神戸本部で課長代理として活躍する加山ミサ。さまざまな国から日本を訪れる外国人技能実習生を、公私ともにサポートしている。加山がこの仕事にかける思いと、その根底にあるものとは。

### 実習生の支えになりたい

2006年(平成18年)、加山はベトナム人研修生の通訳などをしてきた。別の仕事に就くために一旦退職したが、外国の若者が夢を持って日本へ来て一生懸命に努力する姿を見て、どうしてもその支援をしたいと思ひ、2013年に戻ることを決意した。

実習生といえば以前は中国人が多かったが、昨今はベトナム人も増えてきた。社員もベトナム人は加山を含めて6名在籍している。ベトナム人同士、家族のような付き合いをしているという。

「他の社員とも仲が良く、アット

ホームなオフィスで、とても居心地の良い環境です」。

### 日本の家族として

加山は、社員と同様に実習生にも家族のように接している。実習生たちは平均して3年ほど日本で研修を受けて帰国するが、その間、仕事だけでなく、身の回りの世話も含めてサポートをしているのだ。時には相談に乗ったり、買い物に連れて行ったり、洋服を選んであげることもある。そんなとき、実習生から「加山さんは第2のお母さんのようです」と言われることもあるのだと、嬉しそうに話す。

「まだそんな年ではないですが、そう言われて頼りにされると、私も家族のような気持ちになります」。

まだ10代で幼さの残る実習生も多く、自宅や会社の寮に皆を集めて料理を作ったり、にぎやかに楽しく過ごしたりして、さみしい思いをしなないように配慮している。国を離れて